

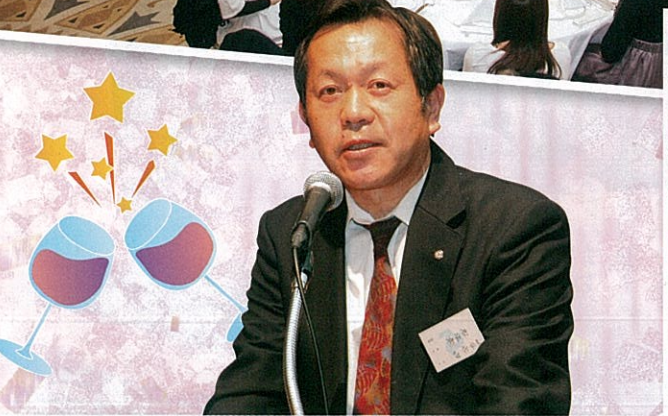
ながら

第26号
 平成22年3月31日
 発行
 朝日大学職員協議会「ながら会」
 題
 字
 宮田 慶三郎

朝日大学職員協議会

「ながら会」 総会・懇親会 盛大に開催される

日 時：2009年12月10日
 場 所：岐阜都ホテル
 参加人数：434名



農夫のカフェ
ゴールドワン
 附属病院 歯科衛生部 青木 尚美



TEL 058-323-4320
 本業市下真桑諏訪9-2
 営業時間：6:30~18:00
 定休日：木曜日
 モーニング：6:30~11:00
 駐車場：22台

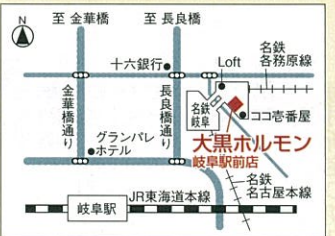
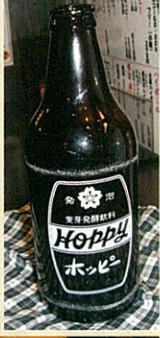
私の住んでいる大野町から通勤範囲内にあるお気に入りのカフェ「ゴールドワン」をご紹介します。ゴールドワンとは、この96歳の現役ウエイターのお爺さんの名前「金二さん」から名付けられたそうです。店内は明るく、アットホームな雰囲気、町の芸術家達が撮影した写真や絵画、ちぎり絵などさまざまな作品が入れ替わり展示されています。

喫茶店なのに充実したメニューがあり、モーニングセットはドリンク料金に、ナンカトーストはドリンクを選べ、ナンには砂糖と黒ごまが付いていてとてもおいしいです。その他に日替わりサラダ、スープ、ゼリーなどのデザートが付いてきます。

ランチメニューはナン付きカレー、スパゲッティ、ハンバーグ、オムライス、味噌カツなどがあり、どれもお値打ちでお勧めです。ドリンクのメニューも豊富で、そのなかでも健康と美容に良いハーブティーやチャイ(インド風味クッキー)、ラッシー(冷たいインド風ヨーグルトドリンク)、マングラッシー(マンゴジュースとラッシー)があり一度飲んでみる価値があります。

毎月8日はコーヒーチケットが割引になり、時々いろいろなイベントの案内も掲示されていますので、是非みなさんも一度出かけてみてはいかがでしょうか。

ホッピー、ナカお替わり！
大黒ホルモン 岐阜駅前店
 歯学部 歯周病学分野 渋谷 俊昭



TEL 058-265-5088
 岐阜県岐阜市長住町2-11-2
 営業時間：16:00~24:00
 定休日：無休
 URL
http://blog.livedoor.jp/daikoku_gifu/

ホッピーなる飲み物を知っていますか？ 関東では駅周辺の居酒屋、特に立ち飲み店に多く置いてあります。

ホッピーとは、麦酒様清涼飲料水(炭酸飲料)でビールテイスト飲料の一種である。また、焼酎をこれに割った飲み物も、ホッピーと呼ぶ。焼酎が入ったグラスやジョッキと、瓶入りのホッピーが添えられる。客はグラスやジョッキにホッピーを注ぎ入れ混ぜて飲むことになる。こうした店では、焼酎を「ナカ」、ホッピーを「ソト」と呼ぶ。グラスやジョッキには瓶入りホッピー1本分全部注げないことが多いので、1杯飲み終わると、「ナカおかわり」と注文して焼酎をもらい、残ったホッピーと混ぜて飲む。(Wikipediaより引用)

このホッピーは焼きトンや焼き鳥に相性がよい。大黒ホルモン岐阜駅前店は名鉄岐阜駅各務原線改札の横に昨年オープンした。臍物系の串焼きはいろいろな食感と味が楽しめる、財布にも極めてやさしい。仕事帰りの一人客や仲間でも店内は一杯である。店内は昭和50年代のレトロな内装であり、音楽も同様にオールディーズの邦楽が流れている。レベッカのラズベリードリームを聞きながらホルモンをつまみにホッピーを飲むオヤジが似合う店である。

今夜も帰りに「ホッピー、ナカお替わり！」とするか。

Special Thanks

磯崎篤則(歯学部)、古市利夫(事務局)、田中未男(法学部)、加藤里美(経営学部)、渋谷俊昭(歯学部)、藤野美穂(事務局)、宝田直樹(事務局)、川村崇博(事務局)、中嶋さつき(専門学校)、久野かおる(留學生別科)、高橋健司(教職課程センター)、青木尚美(附属病院・医療職)、古田百江(附属病院・医療職)、高橋津也子(附属病院・事務職)、今泉佳宣(附属村上記念病院・教育職)、伊藤千明(附属村上記念病院・医療職)、北野康弘(附属村上記念病院・医療職)、曾我部樹里(附属村上記念病院・事務職)、宮田慶三郎(附属村上記念病院・事務職)

編集後記

朝日大学職員協議会「ながら会」は、平成19年12月に会員数810名で発足し、平成21年度には、会員数914名となり今日に至っております。「ながら会」は、今後とも会員相互の親睦と会員の福利厚生向上を図るとともに、会員からの本学の要望を伝達し、協議を行いながら本学の発展のため、機軸代表幹事・各幹事及び監査委員の方々と充実した組織へと励んで参りたいと考えております。

本学は、穂積事業所、附属病院事業所及び村上記念病院事業所を有する教育・医療機関として、学生教育・患者様のためを最優先に考える事業所であることから、それぞれの事業所に勤務しておられる方々から様々な要望があると思っております。会員からの要望を法人へお伝えし、法人からの回答を誠実に皆様にお伝えしたいと思っております。

平成21年度の朝日大学職員協議会「ながら会」総会及び懇親会も盛大に開催され、多くの皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

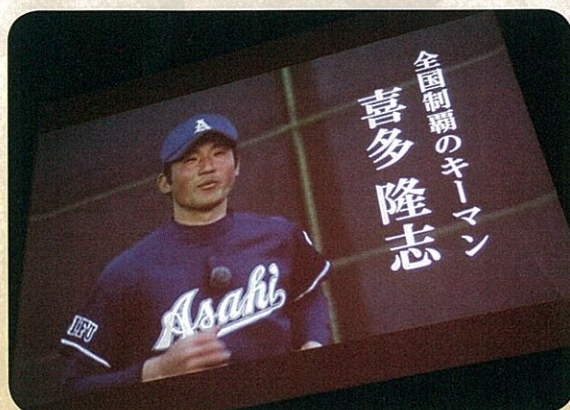
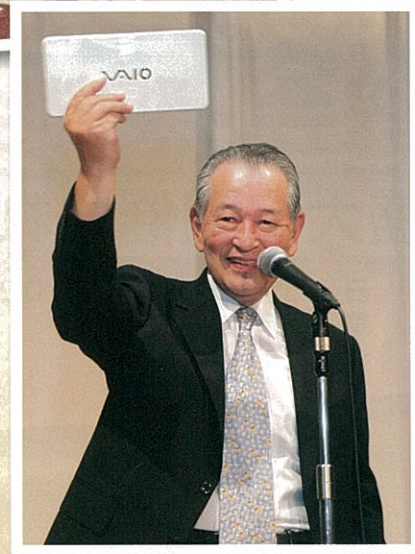
「ながら会」同好会活動についても会員相互の交流を深めて頂くため、今後とも同好会活動を積極的に支援したいと考えております。

本学を取り巻く環境は依然厳しい状況が続きますが、今後とも、朝日大学職員協議会「ながら会」に対しましてご支援とご協力をお願い申し上げます。

古市記

「ながら会」 夏季総会・懇親会 和やかに開催される

日時：2009年6月25日
場所：岐阜都ホテル
参加人数：261名



ながら会 同好会 だより

ながら会



卓球同好会

春の足音が聞こえてくる今日この頃、ながら会会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？2009年、春一番が吹き始めた3月初旬、ながら会卓球部恒例の卓球大会が大学内AUCラブハウス内卓球場にて行われました。百戦錬磨の手續から、ほとんどドラケットにも触れたことのないような初心者の方まで30人以上の多数の参加があり、どの試合も手に汗握る白熱したも

のとなりました。中にはお手伝いに来てくれた体育会卓球部の選手たちからアドバイスをもらって早速プレーに取り入れている選手もいました。卓球は老若男女誰でも手軽に楽しむことができるスポーツです。皆さん一緒に楽しい汗を流しましょう!! 優勝は総務若竹チームで試合後は表彰とともに豪華記念品の授与が行われました。



麻雀同好会



第32回教職員卓球大会結果
2009年3月7日(土)

- 優勝 総務若竹
- 準優勝 混成チーム
- 3位 TBIタックル
- 4位 学生支援

【文責】
荒木奈々美
(学事部 学生課)

【連絡先】
中嶋正人
(歯学部 歯科保存学分野)
河合智親
(学事部 学生厚生課)

本同好会の目的は、紳士の遊びである麻雀を通じて会員相互の親睦をはかることです。ルールやマナーを重んじて、麻雀をスポーツとしてとらえています。

ここ数年は、毎年2月に同好会を開催しています。毎回20名くらいの参加者で半ちゃん3回、約2時間の競技を行っています。麻雀は推理と勘を楽しむもので、ぼけ防止には最適なゲームであると思います。同好会のメンバーも一部高齢化しており、ぼけ防止の麻雀に暇を見つけては勤しんでいます。

本会に参加を希望の方は、山内(内線1517)までご連絡ください。初心者でも構いませんので、遠慮せずにお申し出ください。ルールからマナーまで、懇切丁寧?にご指導いたします。



【連絡先】
山内六男
(歯学部 歯科補綴学分野)



スキー・スノーボード同好会

平成22年1月30日、31日の1泊2日で、スキー同好会とスノーボード同好会合同の合宿を行いました。今シーズンは、暖冬と言われおりましたが、昨年末から予想以上の積雪により雪面のコンディションもよく例年になく恵まれた環境で合宿を行うことが出来ました。また、合宿地は昨年と同じく「ほおのき平スキー場」とい、スキーヤーのた



めの最大斜度42°さらにコブ斜面の難コース、スノーボードのためにワンメイク可能なボードエリア、初心者のために景色が最高な林間コースがあり、各々のレベルに合わせて心ゆくまで滑走することができました。ながら会スキー・スノーボード同好会は、全くの初心者からSAJ1級やパトリールの資格を有する会員までおり、技術の上達を目

指しながら、更には冬の雪山を楽しむことで親睦を深めることができます。今回の合宿においても、スキー・スノーボードを通して普段あまり接することのない他の施設の会員とも親交を深める良い機会となりました。近年、スキーだけでなくスノーボードの競技人口が減少の一途を辿っていると言われますが、年に1回はスキーツアーを企画して、より有意義な活動を行いたいと考えております。幹事一同、皆様のご参加をお待ちしています。

【幹事長】
磯崎篤則
(歯学部 社会口腔保健学分野)

【幹事】
住友伸一郎
(歯学部 口腔外科学分野)
森下ひとみ
(看護部)
後藤洋一
(村上記念病院)

自然に親しむ会

2009年9月21日(敬老の日)から郡上市高鷲のニューパークひるが野平光庵で2泊3日の活動を行った。秋の大型連休であるシルバークエストを利用したキャンプだ。総勢11名の会員が参加しての楽しい会となった。ご存じのように東海北陸自動車道は2008年7月5日に飛騨清見ICと白川郷ICが開通して、名神高速道路と北陸自動車道が直結している。キャンプ2日目、9月22日(国民の休日)は、現在実施されている「高速道休日1,000円」を使い、開通したばかりの飛騨トンネルを走って富山県水見市のフィッシュヤーマンワープに向かった。



置網を観光船で見学した。観光船で出会った富山の元気なご老人が女性会員にいろいろと解説をはじめた。舟のエンジン音もあってなにやら聞き取りにくい解説だったが地元の方の心意気を感じた。復路の後、夕食は平光庵でにぎやか鍋とそれになんと言っても酒である。たらくく食べ、備え付けのカラオケでいつものような大宴会になった。翌日23日(秋分の日)は岐阜の名所・阿弥陀ヶ滝や石徹白の大杉なども観て回った。いつものメンバーに新会員も加わり、とても貴重で楽しいキャンプになった。今年のような大型連休になる次のシルバークエストは5年後の2015年だそうである。5年後のキャンプは再びこの連休を利用するのも良さそう。

往路は若干の渋滞がみられたが予定どおり約2時間で到着した。ひるが野高原とは別世界の日本海に面した漁港には新鮮な海の幸が山のように並んでいる。早速、食事をしたがやはり安くて旨い。さすがは日本海屈指の港を誇ると感じた。江戸時代から続いている定

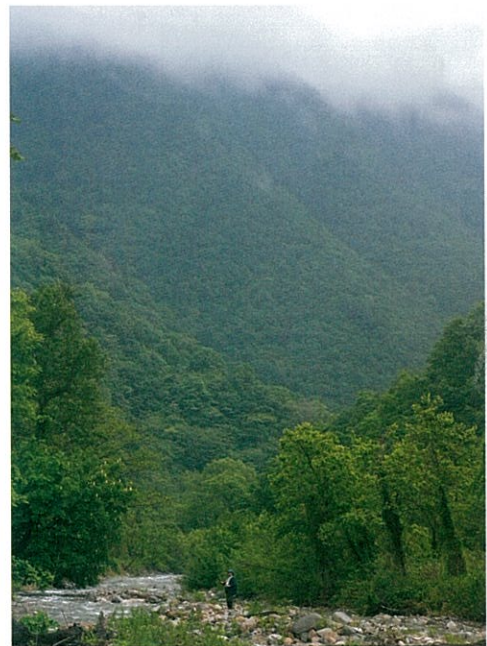
【連絡先】
柏原正典
(歯学部 薬理学分野)

釣り同好会



例年のように、春が来ると騒ぎ出す溪流への思いをネイティブな溪流魚が動き出すまで我慢した。山で新芽が息吹き出す頃がチャンスとばかりに第1回溪流釣り大会を加須良川で開催。入渓してみると、いつものポイントがない？少し、上流に向かって歩き出す。流れが昨年と全く異なっている。川の真ん中に大きな流木が散乱し、禁漁中の秋にかなりの水量が一度に流れた爪跡である。かつての好ポイントはことごとくなくなっている。それでも、上

流は大丈夫と信じて参加者全員がもくもくと上流のポイントを目指した。所々で、ここはと思うと竿をふり、魚信を期待する。しかし、先に入渓者がいるのではと疑うほど魚信が少なく、獲物も小さい。午前中は、これといった釣果も得られず昼食タイム。最近、昼食をゆつたり取る傾向があり、関で仕入れたパンにハムやオニオン、キュウリを挟み、たつぷりとマヨネーズ、マスタードをからませ、自然のなかでホットコーヒー片手に過ごした。午後、気



持ちを入れ替え下流に向かう。すると、我々の昼食タイムを待っていたかのように、スコールのような雨が降り出す。気温が上がれば、釣果も期待できると胸を膨らませ下流に向かった。しかし、小物がかかるが、良型を得ることはできなかった。海釣り大会は、生きた鮭を餌に根魚のキジハタ、ヒラメ、ガシラ、鬼オコゼなどを狙う底もの釣りを開催。新人3名の参加もあり、道中釣り談議に盛り上がった。しかし、前日の時化で海が少々荒れており、船酔いの犠牲者がた。名

人たちは、不幸な新人を横目に日ごろ鍛えた腕を屈指して、生き鮭を底近くで踊らせ本命を狙う。この釣りのだいご味は、常に竿を持ち、竿先の微妙なあたりに集中することである。当たりがあつて、2呼吸してから、合わせようものなら、魚が巣穴に入りビクともしない。また、潜られたとの悲痛な声もしばしば聞こえる。そんな中、元気な新人にも本命がかかり一安心。竹内名人からも歓喜の声があつた。これで、今大会も無事終了。不発の根魚釣りにリベン

ジと第2回目の釣り大会を鷹巣で開催。水深30〜80mのポイントを探りながら時間は経過するが獲物はない。釣り開始、2時間ぐらいでぼちぼちと当たりはある、しかし獲物が掛からない。我々の釣り方を見ていた船頭、「合わせが早い」の一言。前回の釣り大会ではありえない忠告。頭が混乱する中、名人たちは修正をしようとするがなかなか獲物をゲットできない。そんな中、竹内名人がキジハタの良型をゲット、小浜では見たことがないようなサイズ。終盤に入って、やっと

【文責】
磯崎篤則
(歯学部 社会口腔保健学分野)

【連絡先】
竹内宏
(歯学部 口腔病理学分野)



硬式テニス同好会



エアロビクス同好会



写真同好会



2009年11月23日勤務感謝の日、朝日大学テニスコートにおいて親善試合を開催しました。11月にしては17℃、快晴の汗ばむような秋晴れのなか、歯周病科、保存科、補綴科、インプラント科の先生方、20名の会員が集まりました。11時開始で2ブロックの予選リーグを行い、上位2チームが勝ち上がり決勝トー



ナメントを行い、白木(歯周)、北後(歯周)、木村(歯周)、金山(歯周)、関根(保存)、瀧田(補綴)各選手が優秀な成績を収めました。約2時間の熱戦のあと6号館レストランで懇親会を行い、軽食と歓談、表彰式を行いました。入賞者には豪華賞品、参加者には参加賞を贈りました。お天気に恵まれ、大きな怪我や事故もなく、日ごろの練習不足がたたって次の日の筋肉痛と日焼けの辛かったこと。初心者でも参加できます。ラケット

も準備しております。手ぶらで来てください。希望者は歯周病科か保存科の医員に声をかけてください。冬場のトレーニングを怠らず、次回開催にはより多くの会員のご参加をお待ちいたしております。



ながら会エアロビクス同好会が結成されて今年度で18年目を迎えます。現在毎月2回、木曜日の午後6時半からAUCクラブハウスの女子更衣室内スタジオ

オにて活動しています。参加者は多くはありませんが、これからも細く長く活動を続けて参りたいと思っております。レッスンは、ラジオ体操の経験があれば、どなたでも気持ちよく参加していただけます。

写真は同好会のメンバー有志で、12月に岐阜市の某スポーツクラブで開催されたイベントに参加した時のものです。その他、明治乳業協賛のイベント「すっきり夏を迎えたい★脂肪燃焼！体験!!」も企画中です。皆様のご参加をお待ちしております。

【連絡先】
おほし 大橋たみえ
(歯学部 社会口腔保健学分野)

ながら会写真同好会の活動について御紹介申し上げます。その名の通り、写真の好きなメンバーが集まった会でありまして、現在、あらゆる部局からの御参加を頂き、総勢37名となっております。メンバーは、風景写真が得意な者、ポートレートが得意な者、前衛写真が得意な者とその守備範囲は極めて広いのですが、どの作品も何かを心に刻むようなエネルギーに満ちあふれています。作品は、年1回を目処に、附属病院の廊下等に展示されております。附属病院に展示ということから、多くの患者様からも好評を頂きまして、メンバーの励みにもなっております。また、ご覧になれない方には、是非とも御鑑賞いただきたく思います。

ら、本会のメンバーのほとんどは初心者かそれに毛が生えた程度の者ですし、初心者が携帯電話の付属カメラで撮った写真が、高価な一眼レフカメラで撮ったマニアの写真よりも心に訴えるものがあつたりするのが、写真の面白さのひとつです。かくゆう私も、安物のデジカメとトイカメラ(おもちゃのカメラ)しか持っておりません。お手持ちの携帯電話にカメラ機能がついているなら、すでに名アチスになる資格を持っておりますので、おもしろい写真がとれたなあと思われたいら、是非とも写真同好会へ御一報下さい。来年度は、附属病院の壁中を、写真アートの飾ろうではありませんか。

【連絡先】
たかいいち 高井良招
(歯学部 高齢者歯科学分野)
うめはら 梅原則明
(口腔科学共同研究所)



「春」 菱田 健治(事務局長)



「夏」 宮田 侑(理事長)



「秋」 小笠原 昭(監事)



「冬」 竹内 宏(副学長)

カラオケ同好会

カラオケ同好会では例年、新年会をかねたカラオケ練習会を開催しております。今年度は2月17日に、大学近くの、「お好み焼き・石ばし」というお店を借り切って開催いたしました。夕方6時の開始で、1時間ほど経つころには学内の様々な部署から十数名の参加者を迎え、盛会となりました。参加してくださった皆様も適度のお酒で滑舌もよくなり、得意な持ち歌を披露して、日



ごろのストレスを発散されていきました。カラオケを歌うことはもとより、普段あまり話す機会のない部署が離れている皆様とおしゃべりも、楽しみの一つのように、カラオケの間には、あちらこちらで笑い声や楽しそうな話し声も聞かれ、それぞれ、明日からの仕事への活力を得られたことと思います。店の女将も朝日大学の職員のためと、心を込めて料理の腕を振るって

くれたとか…。
今後とも少なくとも年一回、新年会を兼ねて、ながらカラオケ練習会の開催を計画していく予定です。幹事一同、多数の皆様の参加をお待ちしておりますので、どうぞよろしくおねがいします。



【連絡先】
住友伸一郎
(歯学部 口腔外科学分野)
山田小枝子
(歯学部 歯科衛生工専門学校)

芸術鑑賞同好会

芸術鑑賞同好会では、2009年7月5日(日)、名古屋能楽堂にて、能(殺生石(せつしょうせき))と、狂言(磁石(じしゃく))の鑑賞を行いました。本同好会では初めての、能・狂言の鑑賞です。

能と狂言は、室町時代の前期から続く古典芸能で、世界無形遺産にも指定されています。ただ、鑑賞となると、興味はあるけれど難しいので……という方が多いのではないのでしょうか。そこで、本同好会では、鑑賞の前々日に予習会を行いました。鑑賞当日に参加できない会員も集まり、昼食をとりながら、能舞台の構造や演出、役柄について



勉強しました。台本にも目を通して、準備万端です。当日は、上演前に能楽師による講義「市民能楽セミナー」が行われました。後ほど(殺生石)のシテ(主役)を演じる久田勘助さんが、実際に身につける装束や能面を手にとりながら、わかりやすく解説してくださいました。
最初の演目は狂言(磁石)でした。人買商人にだまされ売り飛ばされそうになった旅人が、その上を行くようなだまし方で逆襲するという内容です。中世の日本人の、たくましく生きていた様子を垣間見ることができ、演者の大げさな表情や身振りが楽しく、笑いの芸能の世界にすっかり引き込まれてしまいました。
能(殺生石)は、前半に登場する美女の正体が、実は国家の転覆を企てたキツネの幽霊で、後半、その本性を現すという内容です。前半は語りを中心としてゆったりと演じられていましたが、後半は舞台の上を縦横無尽に動き回る、躍動的な



能(殺生石)シテ 久田勘助
写真協力 名古屋能楽堂

鑑賞後は、舞台の前に集合し、談笑かたがた能舞台の造りを見学しました。能・狂言のさまざまな魅力が発見できて、たいへんよい経験になりました。
本同好会は会員相互の親睦に加え、様々な芸術に触れることで多様な美的感性を培うことを目的としています。皆様のご参加をお待ちしております。

【文責】
米田真理
(経営学部 日本語表現)
【連絡先】
小萱康徳
(歯学部 口腔解剖学分野)

スポーツ応援同好会



70名弱の会員を有する本会は、数年前よりメールアドレスを持つ会員(63名)に本学体育会情報を配信しています。これにより各クラブの部長、監督、コーチから寄せられた情報(試合日程、試合結果を詳細にお知らせしている)とともに、誘い合わせて応援に出かけています。

が、2009年度懇親会にはすでに43名の出席者が見込まれています。本学学生のスポーツ応援に参加していただける方、そして、スポーツが大好きな方の本会への入会をお待ちしています。

09年4月以降12月までの主なクラブの配信回数は、
相撲部 20回
硬式野球部 17回
ホッケー部 13回
ラグビー部 11回
卓球部 9回
フエンスング部 7回
ハンドボール部 6回
でした。

また、本会の大きな特徴は懇親会の出席者の多さです。恒例の2月の懇親会には過去3年間、いずれも30名以上の出席者があり、スポーツをはじめめとして様々な話題で盛り上がりつつあります。写真は2008年度懇親会の様子です



【連絡先】
田村康夫
(歯学部 小児歯科学分野)
梅原則明
(口腔科学共同研究所)

囲碁将棋同好会



囲碁の起原を遡りますと数千年前の中国の占星術に行き着くそうです。紀元前の前漢時代の景帝陽陵からは陶器製の17路の碁盤が出土しています。日本に囲碁が最初に伝えられたのは卑弥呼(175-248)の時代と言われていますが、正倉院には木画紫檀碁局という聖武天皇(701-756)が愛用していた碁盤(19路)が収納されています。碁石の一つ一つには花

をくわえた鳥の図柄が描かれるなど絢爛たる芸術品です。養老律令(757年)の中の僧尼令で音楽や遊戯の禁止が唱われていますが、碁と琴は例外とされ当時から囲碁が他の遊戯とは異なる精神修業にも重要と認められていたようです。
源氏物語等その後の歴史文学書の中にも囲碁の話は



随所にてできます。一昨年は源氏物語千年紀でしたので、ここで源氏物語の中の囲碁についていくつかのエピソードを紹介したいと思います。第3帖空蝉では、源氏が想い焦がれている空蝉の館に忍び入り、空蝉と軒端の萩が碁を打っているのを覗き見している場面があります。碁が終わると専

門用語で目数の計算などの描写がありますから紫式部も囲碁に對しかなり造詣が深かったものと推察できます。実際専門家の分析では紫式部の棋力は現在でいう初段の実力はあったそうです。
時は流れて第44帖竹河(四)・源氏物語絵巻竹河(二)の、この絵の右側に御簾から覗き見をしているのは夕霧と雲居雁との間の子藏人少将で、左側で碁を打っている姫君は、玉鬘の大君と中君で中央に咲く桜の花を賭けた3番勝負の試合のようです。薫君も交えた藏人少将と姫君の恋の行方はともかくとして、平安の雅の時代にご婦人方がこのように碁を楽しんでいたことは実に驚きです。現代に生きる私達も、時空を越えて魅力的で神秘的な遊戯ともいえる碁を楽しめる幸せを感じています。当同好会には残念ながら現在のところ女性の会員はおみえになりません。

例年日本棋院名古屋支部での中部地区の大学対

【文責】
小萱康徳
(歯学部 口腔解剖学分野)
【連絡先】
土井豊
(歯学部 歯科理工学分野)



木画紫檀碁局(正倉院所蔵)

無頼派に憧れる

長谷川 信乃

かつて無頼派といわれる作家達がいた。戦後の既製文学に対し批判的な立場を取った一群の作家をいい、文学史的には新戯作派と称される。その代表的な作家に坂口安吾、織田作之助、檀一雄がいる。この他伊藤整、石川淳、田中英光も含むが、前記の三名が突出して素晴らしい。彼らはいずれも「無頼」という言葉通り、作品のみならず生き方も奔放なものであった。林忠彦が「ルパン」で撮影した写真は有名であり、その魅力を十分に伝えてくれている。

安吾は「墮落論」「白痴」で織田作は「夫婦善哉」が最も知られた作品といえる。「墮落論」は日本人に必要なものや本質を教えてくれる。「夫婦善哉」を最初に読んだ時は、つまらんとしたが、確かに内容はたいしたことは書かれていないが、大阪の持つリズムを完璧に伝えてくれる。関西人の多い本大生には、十分に伝わるものがあると思う。彼らは、長編を書くことができなかったが、檀だけは長編を書くことができた例外かもしれない。それとは無関係だろうが、檀以外は早逝している。檀は「火宅の人」が代表作とされる。他

の作家が創作で同内容のものを書いても評価はろくにされないだろう。とにかく、生き方を含めた表現形態に憧れる。あと無頼派の代表といわれる一人については、残念ながら単なる臆病者に過ぎず、小説もベタベタしたもので全く好きになることができず、自分の中では「グッドバイ」である。

その後、若干同列に思えた作家に焼跡開市派と自称した野坂昭如がいる。野坂の小説では、映画がはやっつたせいか「火垂るの墓」がやたら読まれているが、「工口事師たち」「アメリカひじき」の方が遙かに面白い。彼も奔放な生き方を望んでいたようで、ラグビーやキックボクシングをしていたこともあるがこの方面での才能はない。これは単に三島由紀夫かぶれだろう。だが歌は「黒の舟唄」という名曲を持つ。たぶん酒で身を持ち崩すと思っていいたら、案の定ハリハリ中である。しかし実際は最近では突出した文学の天才である。

現在、世相を反映してか、こういった魅力的な作家達は出ていない。「宮本武蔵」を「バガボンド」で読むような世は残念である。

(歯学部 小児歯科学分野)



「日本の写真家 林忠彦」
岩波書店刊より



全日本剣道連盟主催

剣道選抜特別訓練講習会に参加して

和田 一徳

昨年の12月17日から20日にかけて全日本剣道連盟主催の剣道選抜特別訓練講習会が東京スポーツ文化館で行われました。

講習生は全剣連から推薦された、25歳までの若手で構成され、警察官、刑務官、実業団教職員、大学生、高校生と各職域、学生の日本トップクラスの剣士が集結しました。講師陣も錚々たる顔ぶれで、現在の日本剣道界を代表する先生方が指導にあたり、講習プログラムも我が国の伝統と文化に培われた高い水準の本質的な地力を備えた、骨太な、我が国の基幹となる剣士を育成するという目的の通り、非常に厳しい、内容の濃いもので、初日は全剣連武安会長の講話からはじまり、木刀による素振り1000本、講師の先生方が

元に立つての指導稽古、相互稽古、掛かり稽古、相掛かり稽古、切り返しと手足が痙攣する講習生が出るほどの激しい訓練内容でした。夕食後は全日本トップチームのトレーニングコーチによる試合までのコンディショニングとトレーニング論についての講義があり、普段あまり気にかけていなかった部分での様々な発見があり、非常に有意義な講義を受講することが出来ました。二日目からは午前6時からトレーニング、午前、午後の訓練と、私自身も肉体的に限界までできていましたが、日頃学生達にも指導している、「求める稽古」を課題にして取り組み、訓練に全力で取り組めたことで、私自身、大きな達成感と自信を得ることが出来ました。

最終日前日の懇親会では、厳しく苦しい時間から解放され、講師の先生方、同世代の多くの剣友と情報交換を行い、和気藹々と楽しい時間を過ごしました。四日間の講習を通じて、技術面、精神面とも沢山のことを学び、様々な発見、収穫があった反面、改善していかなければならない所も多く見つけ、この経験を今後の学生指導、剣道人生に役立てていきたいと強く思っております。

(学生課・体育会剣道部コーチ)



アフリカいいとこ

佐納 康治



以前、筆者は無性にアフリカに行つてみたくなり、そのままふらっと出かけてしまったことがあった。それ以来、いわゆるブラックアフリカを4回訪れている。

「ふらっと出かけた」と書いたが、実はそれは正しくない。

なぜなら、アフリカに行くには、いくつかの準備が必要だからだ。まず、ビザの申請。アフリカのほとんどの国はビザが必要で、しかも手続きは煩雑、時間がかかり、料金も高い。次に、予防接種。私はコレラ、肝炎、狂犬病、破傷風、黄熱の注射を打った。これも、接種間隔や順番があり、ややこしい。また、マラリアはワクチンがないので、現地に行つてから予防薬を購入して服用しなければならない。

その次に航空券。アフリカ行きの航空券は余りないので苦労したが、最後に東京の旅行会社で扱っているところを発見。日本から中部アフリカは赤道ギニアの首都マラボまで往復約25万円也。

現地に着くと、物価の高さにびっくり。アフリカの物価などタダ同然かと思つていたら、日本より高いぐらいである。ホテル代と食費だけでも、毎日1万円が飛んでいく。しかも、水も電気もないホテルが多い。

移動はトラックの荷台。これも、最初はトラックの荷台に人を乗せるのかと思つていたら、荷台には大切な荷物様が載るので、人間は荷台の側面に掴まつて乗るだけ。この状態でジャングルの中のドロドロ道を何時間も進む。

食べ物フランスパンとバナナだけ。あと、フランスから輸入された缶詰が少々。店はいつ開くのかも分からない。ゴーストタウンのような街。

治安はかなり悪く、夜間の外出は厳禁。昼間でも、人通りの多いところにならないと危険である。さらに質の悪いのが警察、官憲、軍などの公的権力である。外国人と見るや、ゆすりたかりの嵐。例えば、入国審査では、「お前のパス

ポートは偽造だ」などと言ひ出し、パスポートを取り上げる。結局、パスポートを返してもらつたために、100ドルをふんだくられる。

それでも、私はアフリカが好きである。アフリカが人類発祥の地だからだろうか。何となく、人類の原点のようなものを感じる。それと同時に、人間のたくましさも感じる。

私が訪れるのは、主に、アフリカの旧フランス領の国々である。言語は当然、フランス語となる。街中はおろか、ホテル、空港でも英語は通じない。飛行機の機内アナウンスも、フランス語だけ。でも、あの灼熱の大地、エネルギー感、シユな人々と、華麗な文法、美しい発音のフランス語との対比が、かえつて絶妙である。人は、やはりEasy goingを嫌い、試験を求めのだと思う。アフリカ旅行はまさしく試験だが、そうであるが故に、私はアフリカが好きである。

(経営学部情報管理学科)

新入会員所感

フレッシュ 歯科衛生士です!

今井 友紀・小島 綾子

朝日大学歯科衛生士専門学校を2009年3月に無事卒業し、4月より朝日大学歯学部附属病院に就職しました。歯科衛生士の今井友紀と小島綾子です。

最初はとにかく不安なことばかりでスタッフとのコミュニケーションや診療の流れ、電話応対や器具・準備物などを覚えること、また学生の時とは違う仕事の厳しさや責任感の重みを感じ、戸惑うことばかりでした。そんな私たちに先輩方は親切なアドバイスや丁寧な指導をして下さっています。そのおかげで少しずつではありますが、仕事にも慣れることができました。

しかし、まだまだ学ぶことが多い私たちです。大学病院という恵まれた環境の中で多くのスタッフからいろいろなことを吸収し、学んでいきたいです。そして歯科衛生士としての知識、技術の向上だけではなく、人間性も成長していきたいです。また、学会や研修会にも参加し、スキルアップしていけるよう努力していきますのでこれからもどうぞよろしくお願い致します。

(附属病院 歯科衛生部)

ご挨拶

麦島 俊典

朝日大学を卒業して四年。職員として、体育会ラグビー部の指導者として母校へ戻つたことを大変嬉しく思っています。また、ながら会へ温かく迎え入れていただきありがとうございます。

四年ぶりの母校へ戻りましたが、体育会施設はより充実度を増し、遠い先の話に感じていた「ぎふ清流国体」を2年後に控え、学内が活気づいていると思えます。そんな中で朝日大学の活動に携わることができ、その発展に少しでも力になればと考えています。少子化や就職難など取り巻く環境は厳しいものですが、元気で活力ある人材を世に送り出せるよう学生の指導に努めて参りたいと思えます。挨拶ができる、迷惑をかけない、周りに気配りできる、そんな当たり前の事が自然にできる学生を増やしていきます。

私もまだまだ未熟者であります。皆様方の御指導、御鞭撻をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

(学事部学生課・ラグビーフットボール部 コーチ)

ご挨拶

安松 啓子

2009年4月に口腔機能修復学講座口腔生理学分野の准教授に就任しました。私の経歴についてご紹介いたします。

九州大学歯学部を卒業後、大阪府内の歯科医院に就職しました。ここでは、補綴、保存、口腔外科などを学ばせていただきました。一日多くの患者さんを診ることに挑戦いたしました。しかし忙しさの中で体調のコントロールが追いつかず、数年でやめることとなりました。次に東京都内の歯科医院にて自費診療に挑戦いたしました。これらの歯科医院に勤務して一番感じたことは、経営と医療の両立の重要性と難しさでした。そして、その実現のためには歯科医師の技術面、精神面、そして学問的向上が必要...という考えに至り、研究と教育の現場に飛び込みたいという気持ちで日々高くなりました。そこで、母校の生理学教室のドアをノックし、大学院に入学しました。大学院から特任講師の間は二ノ宮教授のもとで味覚の研究を約10年間行い、研究の基礎を学ぶとともに興味やスポーツも含む様々なことに挑戦させていただく機会がありました。釣りの面白さを

知ったり、釣った魚をさばいたり、味覚の知識を応用して料理するのも味の楽しさ十科の楽しさとなりました。海外での学会発表も大変ですが外国の研究者と交流がもてて勉強になりました。

現在准教授のもと、歯学教育について勉強させていただきながら、授業や試験に少しづつ慣れてきたところで、微力ですがお役に立てれば幸いです。私の趣味は美味しいものを食べることに歌うことです。写真を撮るのも楽しみです。写真同好会に早速入会させていただきました。特に自然、花、小動物を撮影するのが好きです。ながら会の皆様と楽しく食事、趣味など共有させていただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

(朝日大学歯学部口腔生理学分野)

ご挨拶

米塚 雅弘

私は2009年3月に朝日大学を卒業し、2009年4月から朝日大学職員になりました。最初に総務部施設課に2ヶ月いまして、次に学事部学事課に配属になりました。体育会卓球部のコーチもしています。仕事ではわからないことがたくさんで迷惑ばかりかけていますが、先輩方の親切で丁寧なアドバイスや指導をいただき、少しずつではありますが仕事にも慣れてくることができました。まだまだ未熟ではありますが、誠心誠意努力いたしますので、これからもアドバイスやご指導のほど宜しくお願いいたします。

(学事部学事課・卓球部 コーチ)

